

金融の安全保障

田中 修

はじめに

習近平総書記は4月25日午後、「金融政策・金融行政をしっかりと行い、金融の安全を擁護する」ことについて、党中央政治局集団学習会を開催した。

会議では、①周小川人民銀行行長がマクロ・コントロールの強化、金融の安全保障、②郭樹清銀行業監督管理委員会主席が銀行システムのリスク解消、金融の安定擁護、③劉士余証券監督管理委員会主席が資本市場の発展とリスク管理、④陳文輝保険監督管理委員会副主席がリスク保障への回帰、保険監督管理の強化、金融の安全擁護の最低ラインを守ることについて、それぞれ認識・体験を語った（新華社北京電2017年4月26日）。

本稿では、習近平総書記の重要講話と、新華社の解説記事の概要を紹介する。

1. 習近平総書記の重要講話

金融は現代経済の核心である。経済の平穏で健全な発展を維持するには、必ず金融をしっかりと運営しなければならない。

改革開放以来、我々は金融政策・金融行政と金融の安全について、常に高度に重視してきた。わが国の金融業の発展は巨大な成果を得ており、金融は資源配分とマクロ・コントロールのための重要な手段、経済社会の発展を推進する重要なパワーとなった。

18回党大会以降、我々は金融リスクの防止・コントロールをより重要と位置付け、システムミックリスクを発生させない最低ラインをしっかりと守り、一連の措置を採用して金融監督管理を強化し、金融リスクを防止・解消し、金融の安全・安定を擁護し、発展の大勢をしっかりと掴まなければならないと繰り返し強調してきた。

金融改革が不断に深化されるに伴い、金融システム・金融市場・金融の監督管理とコントロールのシステムが日増しに整備され、金融機関の実力が大いに増強されており、わが国は既に重要な世界の金融大国となった。

リスクの隠れた弊害を正確に判断することは、金融の安全保障の前提である。

総体として見ると、わが国の金融情勢は良好であり、金融リスクはコントロール可能である。同時に、国際・国内経済の下振れ圧力要因の総合的な影響の下、わが国の金融の発展は、少なからぬリスク・試練に直面している。

経済のグローバル化が深く発展した今日、金融危機のスピルオーバーは際立っており、国際金融のリスクポイントは依然として少なくない。いくらかの国家の金融政策・財政政策の調整が形成するリスクのスピルオーバー効果は、わが国の金融の安全に対して外部的な衝撃を形成する可能性がある。

存在する金融のリスクポイントに対して、我々は必ず状況をしっかり把握し、リスク防止の意識を強め、転ばぬ先の杖で、密接にモニタリングし、正確に予想・判断し、有効に防止し、1つのリスクも軽視してはならず、1つの隠れた弊害も放置してはならない。

金融の安全を擁護するには、最低ラインを守るという考え方を堅持し、問題志向を堅持し、金融政策・金融行政を全面的にしっかり行う基礎の上で、金融改革の深化に力を入れ、金融監督管理を強化し、リスクを科学的に防止し、安全能力の建設を強化し、金融業の競争能力・リスクへの抵抗能力・持続可能な発展能力を不断に高め、システミック金融リスクを発生させない最低ラインを断固としてしっかり守らなければならない。

金融業は、外国の有益な経験を学習し参考としなければならないが、国情に立脚し、わが国の実際から出発して、わが国の金融の発展の特徴・ルールを正確に把握しなければならない。そっくりもの真似してはならない。

金融の安全擁護には、6つの任務がある。

(1) 金融改革を深化させる

金融システムを整備し、金融業のコーポレートガバナンス改革を推進し、周到・慎重でルールに則った経営理念を強化し、金融機関が現実に合わせてリスク管理の責任を担うことを推進する。市場ルールを整備し、市場化され法治化されたデフォルトの健全な処理メカニズムを整備する。

(2) 金融監督管理を強化する

システム上重要な金融機関の監督管理を統一的に企画し、金融持ち株会社と重要な金融インフラの監督管理を統一的に企画し、金融業の統計の総合化に統一的に責任を担う。金融システムの良性の運営を確保し、管理部門が重点部分をしっかり把握するよう確保し、賢く優れた洞察力によりリスクをコントロールすることを確保する。金融の発展と監督管理の強大な合成力を形成し、監督管理の不足部分を補充し、監督管理の空白を回避する。

(3) 措置を採用してリスクポイントを処置する

フローのコントロールに力を入れ、ストックを積極的に処置する。債務逃れの行為を取り締まり、レバレッジ率をしっかりコントロールし、市場の法規違反の行為に対する取締りを強化する。金融市場・インターネット金融に対して、全面的な厳しい調査・処分を重点的に展開する。

(4) 実体経済の発展のために良好な金融環境を創造する

実体経済に金融が入り込むルートを円滑にし、様々なレベルの資本市場を積極的に規範化し発展させ、直接金融を拡大する。貸出し政策のガイドラインを強化し、先進的製造業

等の分野に金融機関が資金支援を増やすよう奨励し、サプライサイド構造改革を推進する。

(5) 指導幹部の金融政策・金融行政能力を高める

指導幹部とりわけ高級幹部は金融知識の学習に努め、金融業務を熟知し、金融ルールを把握しなければならない。金融手段の使い方をマスターし経済社会の発展を促進するのみならず、金融リスクの防止・解消をマスターし、監督管理意識を強化し、監督管理の効率を高めなければならない。

(6) 金融政策・金融行政に対する党の指導を強化する

党中央が統一的に企画・指導することを堅持し、金融政策・金融行政を党が指導する体制メカニズムを整備する。制度化を強化し、定期的に金融発展戦略を検討し、金融情勢を分析し、金融方針・政策を決定するメカニズムを整備して、金融政策決定の科学的水準を高める。金融部門は、職責分業に基づき責任を担わなければならない。

地方各レベルの党委員会・政府は、党中央の政策決定・手配に基づき、当該地域の金融の発展・安定政策をしっかりと実施し、自分の地域を守ることに責任をもち、全国が1つとなった金融リスクの防止・コントロールの構造を形成しなければならない。

2. 解説記事「金融リスクを防止し、実体経済に奉仕する」(新華社北京電 2017年4月26日)

習近平総書記は、「金融の安全を擁護することは、わが国経済社会の発展の全局に関係する戦略的・根本的の大事である」と強調した。専門家は、これは当面わが国が金融リスクを防止し、金融が実体経済に奉仕することを促進するための方向を明らかに示したものだとしている。

(1) 金融の安全を擁護することを国政運営の一大事とする

金融は現代経済の核心であり、金融の安全は国家の安全の重要な構成部分である。習近平は、「経済発展と社会生活における金融の重要な地位と役割を十分認識し、金融の安全を擁護することを国政運営の一大事とし、金融政策・金融行政をしっかりと行わなければならない」と強調した。

中国国際経済交流センターの王軍情報部長は、「現在中国経済は、転換・グレードアップのカギとなる時期にあり、金融による有力な支えが必要である。同時に、いくらかの国家の金融・財政政策の調整は、中国の金融の安定に対して外部的な衝撃を形成する可能性がある。このため、金融の安全の重要性を新たな高みにまで押し上げることが必要であり、金融と実体経済の関係をうまく処理することについて、より深い認識が必要である」と分

析する。

ここ数年、中国の金融業の改革開放は不断に深化され、預金・貸出金利規制の開放、人民元の国際準備通貨化等の一連の歴史的進展を得たことは、中国経済の安定した健全の発展のために有力な支えを提供した。

しかし、金融イノベーションの勢いが盛んとなり進展すると同時に、いくらかの隠れた弊害も出現しており、リスクを防止する必要がある。実体経済を支援するために生み出された巨大な流動性は誘導が必要であり、金融と実体経済の関係をうまく処理しなければならない。

中国民生銀行の温彬チーフ研究員は、「経済の転換・調整において、金融業自体がプレッシャーを受けている。他方で金融業は、過度なイノベーションにより、監督管理の真空が新たなリスクを引き起こすことをも防止しなければならない」と指摘する。

現在、わが国の金融リスクは総体としてコントロール可能であるが、国際的な経験は、金融リスクに対して常に高度な警戒を維持しなければならないことをはっきり示している。業界関係者は、「1997年のアジア金融危機から2008年の国際金融危機は、もし金融リスクを有効に防止・解消できないならば、その経済社会発展に対する影響が全局的になることを、我々に告げている」と指摘する。

中原証券の周小全総裁は、「金融の安全の擁護は、戦術上の考慮が必要なだけでなく、戦略上の手配が必要である。金融安全の政策を全体的・統一的に企画し、トップダウン設計をしっかりと行わなければならない。金融の安全の擁護を国政運営の大事な高みに押し上げ、問題のカギとなる部分に真に取り組まなければならない。今後、経済発展に対する金融の役割を強調すると同時に、金融リスクの防止、国家の金融安全の擁護を戦略的レベルにまで引き上げなければならない」とする。

(2) リスクの隠れた弊害を正確に判断し、システム金融リスクを発生させない最低ラインを断固として守る

業界関係者は、「現在、わが国金融システムは総体として健全であるが、同時にわが国金融発展は少なからぬリスク・試練に直面してもいる。リスク防止の意識を強め、リスクの真相を探り明らかにし、これに積極・主動的に対応し、早期に発見し早期に解消して、弊害を未然に防がなければならない」と認識している。

人民銀行の範一飛副行長は、「金融イノベーションは、業種をまたぎ市場をまたぐ大量の商品を生み出している。もし監督管理に空白が存在し、監督管理の基準が不統一であれば、

極めて容易に新たなリスクを引き起こすことになる。業種をまたぎ市場をまたぐ交差的な金融リスクを防止することを、金融の安定擁護の重要な分野とし、金融の安定擁護の道具箱を豊富にし整備することに力を入れる」としている。

中国民生銀行の温彬チーフ研究員は、「資産管理業と理財商品は、銀行・証券・信託・債券等の多くの分野を横断しており、同業の業務が異なる分野・異なる種類の金融機関を縦に貫いている。現在この分野には、なお真相がはっきりせず、リスクが不明な状況が存在しており、重点的に厳しく調査し、縦横に貫く透明な監督管理をできるだけ速やかに実現する必要がある」と明確に提言している。

証券監督管理委員会の鄧舸スポークスマンは、「市場の安定した運営に深刻な影響を与える悪意の操縦、債券市場・プライベートエクイティファンドの資金管理業務のうちリスクをスピルオーバーさせる法規違反の行為等を重点的に取り締まる」とした。

中原証券の周小全総裁は、「わが国の金融リスクのモニタリングと事前警告のメカニズムを整備し、コントロール可能な方式・テンポによりリスクを積極的に処置し、金融の脱レバレッジを穏健に推進すべきだ」と建議している。

(3) 金融改革を深化させ、金融監督管理を強化して、リスクポイントを遅滞なく処置する

現在、わが国の金融機関の実力は大いに増強されているが、一部の金融機関はリスク防止意識とガバナンス水準が不足している。

中国民生銀行の温彬チーフ研究員は、「金融機関自身がリスク意識を強め、周到・慎重でルールに則った経営を強化しなければならない。とりわけ、コーポレートガバナンスの体系を整備しなければならない」とする。

現在、銀行業監督管理委員会は既に3大分類・26項目に及ぶ監督管理制度の不足の補充を確定している。保険監督管理委員会は制度の空白を補充し、現行規則を改定し、マクロプルーデンス管理の協調を図ることに重点を置いている。証券監督管理委員会は、取引所の監督管理の質的向上を図っている。専門家は、「監督管理部門は協調を強化し、監督管理のルールを統一し、監督管理の合成力を形成すべきだ」と建議している。

交通銀行の連平チーフエコノミストは、「もしリスクポイントの処置が遅れば、急速にリスクが拡散し、重大な問題を惹起する可能性がある。現在、金融監督管理を強化する政策措置が段階的に推進されており、既に一定の効力を生み出している。今後新たな監督管

理・コントロール政策を制定する際には、部門間の協調の強化を重視する必要がある」とする。

金融が活性化すれば、経済が活性化し、金融が安定化すれば、経済が安定化する。金融リスク防止の目的は、とどのつまり実体経済のために良好な金融環境を創造し、実体経済に金融が入り込むルートを円滑にすることである。専門家は、「様々なレベルの資本市場を積極的に規範化・発展させ、直接金融を拡大すべきである。金融の供給を豊富にし、実体経済の資金調達に難度・コストを引き下げるべきである。金融各業種は、民間資金を実体経済に積極的に誘導し、経済の転換・グレードアップのために強大な支えを提供しなければならない」と建議している。

(5月2日記)